学校番号	3023

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『改定版　詳説日本史Ｂ』（山川出版社）						
副教材等	『最新日本史図表　三訂版』（第一学習社）・『日本史用語集』（山川出版社） 『新日本史研究ノート　応用編』（啓隆社）・ 『大学入試共通テストへの道　日本史』（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業の前に教科書を読む（予習）、集中して授業を受け、学習内容を理解する（授業）、次に授業プリントを参照しながら教科書を自分自身で何度もじっくり読みこみ、学習内容を確認・理解する（復習）。この予習→授業→復習のリズムを早く確立させること。そして「読解力」を養成しよう。理解できなければ５回でも６回でも理解できるまで教科書を読むこと。

2　学習の到達目標

・日本の歴史と文化について、各時代における地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。
・日本の歴史の展開を文字史料、遺跡・遺物など様々な歴史資料を活用して学ぶ。
・文化財保護の重要性を理解しながら日本の歴史や文化に対する関心を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史と文化について各時代の国際環境や地理的条件などと関連付けながら意欲的に追究するとともに、日本の歴史や文化に対する関心を高める。	歴史の解釈の多様性にかかわる理解、解釈を成り立たせる根拠や論理にかかわる思考力・判断力、根拠をもとに考えを筋道立てて説明する思考力・表現力を身につけている。	日本の歴史に関する諸資料を理解し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史と文化について各時代の国際環境や地理的条件などと関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 授業発表	定期考査 ワークシート 授業発表	定期考査 ワークシート 授業発表	定期考査 ワークシート 授業発表
	〔主題学習〕 討論・発表 学習の振り返り	〔主題学習〕	〔主題学習〕 学習の振り返り	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	主題学習	・大仏造立をめぐる歴史資料 ・中世の商品流通 ・朝鮮通信使 ・歴史の流れを組み立てる	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○		a:歴史に関わる主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等
	日本文化のあけぼの	・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権	 ○ ○	 ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:旧石器・縄文文化など原始社会の概容、農耕社会成立による弥生文化、ヤマト政権による統一と前方後円墳の分布、渡来人による文字や仏教・各種技術の伝播などの主題について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:『漢書』地理志、『魏志』倭人伝、高句麗好太王碑文、『宋書』倭国伝、稲荷山古墳鉄剣銘文、仏教の公伝 以上の史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d: 設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等
	律令国家の形成	・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安王朝の形成	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ 	○ ○ ○ ○	a: 推古朝、大化改新、天智・天武・持統朝と飛鳥・白鳳文化、律令制、遣隋使・遣唐使など東アジア世界奈良時代の政治史、天平文化、桓武・嵯峨朝などの平安初期の政治史、弘仁貞観文化などの主題について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:憲法十七条、遣隋使の派遣、大化改新の詔、戸令・田令・軍防令、戸籍計帳、長屋王家木簡、井真成墓誌、国分寺建立の詔、大仏造立の詔、三世一身法、墾田永年私財法、浮浪・逃亡の続出、平安京遷都、池亭記、徳政論争 以上の史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等

	貴族政治と国風文化	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	○ ○	 ○ 	○ ○	○ ○ ○	a:摂関政治の成立と展開、東アジア世界との関係の変化、国風文化、各地における土地と人に対する支配の動揺、公領の変質や荘園の拡大と武士の登場 などの主題について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:道長の栄華、刀伊の入寇、今昔物語集、尾張国郡司百姓等解文、往生要集、田堵の経営、将門記、荘園の寄進 以上の史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等
後期	中世社会の成立	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○ ○ ○	○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:武士の土地支配と平氏政権・鎌倉幕府などの武家政権、鎌倉期の公武関係、宋・元などとの関係、中世国家の形成過程や社会の仕組み、鎌倉新仏教など鎌倉文化の特色とその成立の背景について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:記録所の設置、院政の開始、平氏の繁栄北条政子の演説、御成敗式目、地頭の非法、永仁の徳政令、専修念仏、悪人正機説、只管打坐、立正安国論、 以上の史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等
	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	 ○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:建武政権・室町幕府の支配、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、戦国大名の分国支配、南北朝・北山・東山・戦国文化などの主題について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:二条河原落書、建武式目、半済令、惣掟正長の徳政一揆、嘉吉の乱、山城の国一揆、加賀の一向一揆、分国法、自由都市堺、以上の史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等

後期	幕藩体制の確立・幕藩体制の展開・幕藩体制の動揺	・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代へ ・化政文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:幕藩体制の確立、幕藩体制の展開、幕藩体制の動揺などの主題について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:太閤検地、武家諸法度、上げ米の令、海防論、異国船打払令、人返しの法など以上の史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等
	近代国家の成立・二つの大戦とアジア・占領下の日本・高度成長の時代	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・日清・日露戦争 ・近代産業の発達 ・第一次大戦と日本 ・ワシントン体制 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ ・経済大国への道 ・冷戦と終結と日本社会の動揺	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:近代国家の成立、第一次大戦と第二次大戦とアジア、戦後日本の歩みについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:五箇条の誓文、大日本帝国憲法、サンフランシスコ平和条約など近現代史の基本史料を読み記述内容を正確に読み取っている。 d:設定された主題について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 授業発表等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。